

# あらたなる冬のイベント

摩周☆スノーランド2020



白熱した雪合戦

摩周☆スノーランド2020(ユースフルネットワークてしかが主催)が2月8日、ふれあいスペース「コラーレ」で開催されました。

昨年まで行われていたイベントが人手不足などから終了したため、ユースフルネットワークてしかがの皆さんなどが、イベントの少ない冬季の町を活性化させ、子どもたちや町民の皆さんに弟子屈の冬を楽しんでもらいたいとの思いから新たなイベントを企画しました。

開催にあたっては、イベントの名称や、ポスターなどを町内の小中学校生から募集。町民の皆さんと一体となったイベントを目指しました。

当日の会場には、巨大な雪と氷の滑り台が設置されたほか、チューブスライダーやバギーが子どもたちの人気を集め、雪中宝探しやお菓子まき、消防車などの体験乗車など、趣向を凝らしたイベントを実施。チーム対抗で行われた雪合戦では、観戦した皆さんからも歓声があがるなど、大いに盛り上がりました。



子どもたち人気だったバギー

地元のおいしい食べ物のお店も多数出店。弟子屈町産ブドウを使った「葡萄色の巨」のホットワインや、弟子屈町産イチゴ「摩周ルビー」を使ったタピオカドリンクなども販売されました。夜には摩周冬空花火の打ち上げが行われ、観客からは歓声が上がっていました。

## CloseUp Topics

### 町の話

## 冬ならではの楽しみを

ダイヤモンドダスト in KAWAYU 2020  
森のスノーパーク

てしかが極寒ARtフェスティバル Vol.10



OGG(左)による一人芝居(アートフェス)



たき火を囲んで(スノーパーク)



雪柱に灯りがともる(灯の森)

ダイヤモンドダスト in KAWAYU 2020(同実行委員会主催)が1月25日、2月23日、川湯園地周辺で行われました。川湯園地に設置された「灯の森(ともしびのもり)」は、スノーランタンやアイスキャンドルの暖かな光で照らされた幻想的な空間。写真を撮る観光客の姿が多くみられました。

てしかがえこまち推進協議会(会長・徳永町長)でも、寒いこの時期ならではのイベント開催しました。同協議会エコツアーリズム推進部会(藤原仁部長)は、2月1・2日の2日間、「森のスノーパーク」を川湯エコミュージアムセンター周辺で開催。クロスカントリースキー体験や園地内の木に登るツリーイング、ティピートントでのたき火など、地元の皆さんや観光客の皆さんが楽しみました。

また、2月2日からは、同協議会のアート&アド部会(今井善昭部会長)が「てしかが極寒ARtフェスティバル」を開催。野外美術館での作品展示、アートイン極寒芸術伝染装置アートホールにて2月24日までの間、アーティストによるパフォーマンスが行われました。作品展示は、3月3日(火)まで行われますので、ぜひご覧ください。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

1月7日~24日

## 力作が勢ぞろい 絵手紙摩周湖年賀状作品展を開催



あたたかい手紙文化を伝える

絵手紙摩周湖年賀状作品展が今年も弟子屈郵便局(藤原将男局長)で1月7日~24日にかけて開催されました。

同展は町内のサークル「絵手紙摩周湖」(藤原直美代表)が毎年この時期に開く恒例行事で、今年は126点の作品を展示。絵手紙の多くは今年の干支であるネズミや、お正月・季節に関わる題材で描かれ、どれも手書きならではのぬくもりのある作品ばかり。書き手の心のこもった力作が勢ぞろいし、郵便局を訪れる方を楽しませました。

1月26日

## 積み上げ磨いてきた技術・表現力を披露 I & Mバトンスタジオ発表会を開催



日頃の成果披露

I & Mバトンスタジオ(渡辺伊織代表)による発表会が1月26日、摩周観光文化センターで開催されました。

I & Mバトンスタジオは7周年を迎えたことから発表会を開催。それぞれの発表のほかに、弟子屈小吹奏楽少年団と弟子屈中・高校の吹奏楽部との共演なども行われ、500人を超える来場者からは、大きな歓声と拍手が送られていました。渡辺代表は「メンバーのがんばりと、関係者の皆さんの協力がありここまでこれた。今後もバトンを心から愛し、さまざまなことに挑戦していきたい」と話していました。

2月5日

## しつけと虐待の境界線はどこ？ 令和元年度 子育て支援講演会を開催



熱心に耳を傾ける参加者

弟子屈町要保護児童対策地域協議会主催による、令和元年度 子育て支援講演会が2月5日、公民館講堂で開催されました。

児童が巻き込まれる事件や事故、虐待などのニュースが後を絶たないことなどから北海道釧路児童相談所 川原田美樹相談支援係長を講師に招き、「しつけと虐待の境界線はどこ？」をテーマに、児童虐待などについて講演を行いました。当日は教育・福祉関係者や町民の皆さんなど、約70人が参加。参加者は、講師からのしつけと虐待の違いなどについてのお話しに、メモをとるなど熱心に耳を傾けていました。

1月23日・2月18日

## てしかがの未来の中心市街地づくり 第6・7回中心市街地再構築全体構想町民会議を開催



全体構想を引き継ぐ

中心市街地再構築全体構想町民会議(今井慎也委員長)の第6・7回会議が1月23日、2月18日にそれぞれ町役場で開催されました。第6回の会議では、全体構想案について議論され、民間事業社の参入意向調査の状況が報告されました。第7回では温浴施設を核とする全体構想案を承認。同会議のオブザーバーである株式会社RERAWORKS佐藤代表は「多く町民の方が参加した画期的な取組みで、今後も当事者意識を持って進めていく事が重要」と講評しました。徳永町長は「皆さんの想いがひとつでも多くかなうように努力したい」と話し、今井委員長から全体構想案をに引き継ぎました。

1月31日

## アイヌの歴史や文化について理解を アイヌ文化等講演会を開催



瀬川教授による講演

町と町公民館主催によるアイヌ文化等講演会が1月31日、町公民館で開催されました。

町では「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」に基づき、関連施策を推進するため、今回は広くアイヌの歴史や文化などの理解を深める機会として、講演会を開催しました。

約100人が参加した講演会では、札幌大学 瀬川教授による講演と、内閣官房アイヌ総合政策室勝山主査によるアイヌ政策推進交付金制度などの活用についての説明が行われ、参加者の皆さんは、講師のお話を熱心に聞いていました。